

税の申告 忘れて損するは あなたです。

市・県民税、事業税、所得税

申告期限三月十五日

ことしも市・県民税、事業税、所得税などの申告の時期になりました。
申告書には、昨年中の所得など必要なことを記入し、必ず三月十五日までに提出してください。
申告を忘れり、期限が過ぎたりすると、みすみす不利な納税をするのは、あなたです。

市・県民税

市・県民税の申告受付が三月十五日まで市役所税務課で行われます。
昨年の一月一日から十二月三十一日までの所得をよく計算して、正しい申告をしてください。
受け付け時間は午前八時三十分から午後五時までです。土曜日の午後と日曜日は受け付けしませんのでご注意ください。

申告の用紙は

この広報と同時に配付する予定です。もし、届かないときは部落連絡員、または税務課へ請求してください。

申告しなければならぬ人

昭和四十九年一月一日現在、南園市に住んでいる人で、次にあてはまらない人は申告してください。
昭和四十八年分所得税の確定申告書を税務署に提出した人所得税がかかる人、または還付のため申告した人
▼年間の所得が十八万円未満の

事業税

個人事業税の申告は、市・県民税の申告書によることになって、このため、後免県税事務所へ申告書を提出する必要はありません。

縦覧 固定資産課税台帳の縦覧

これまで、固定資産課税台帳を自由に見たのは、三月一日から二十日まででしたが、ことしは地方税法の改正により登録事項が変更になる予定です。したがって法改正後の縦覧とするため、今年に限り、四月一日から二十日までとします。

昨年、建てられた家は、税務課職員によって評価がなされ、それにより昭和四十九年度の固定資産税が課税されます。また、地目の変更による評価がえ、住宅用地の届出による認定により課税が異なります。

縦覧によって、決定事項に不服のあるものは、固定資産評価審査委員会に申し出ることができます。

注射 狂犬病の予防注射

税務課

犬は正しく飼いましょ。
▼登録は毎年四月に一回、予防注射は四月、十月の年二回です。四十九年度四月の登録と予防注射の日程は次の広報にのせまので注意してください。
▼犬は鎖につないで飼いましょ。
▼門には犬を飼っていることがわかるように門標を。
▼不用犬は捨てないよう。
▼市では毎月第二日曜日に不用犬の引き取りを次のようにしています。
◎九時三十分から十時まで、市役所北側駐車場。
必ず日時を守り、印鑑をもってきてください。

募集 山田高定時制の生徒

公害環境課

働らきながら高校卒業の資格を——。山田高校では定時制の生徒を募集しています。
▼教科書は全額無料です。
▼授業料は月二百五十円。所得税も勤労学生控除で安くなります。奨学金制度があり、交通機関の学生割引も適用になります。

川千 山田堰の水止め

三月一日から十日までは、恒例の山田堰の水止めです。この季節は、季節風が吹きあられ一年中でいちばん火災の多い月でもあります。火気には十分注意してください。

年金の請求は早目に

国民年金制度ができてから「国民皆年金」といわれ、国民はどれかの年金制度に加入して、年おいたときや思いがけない事故があったとき、所得保障として老令年金または各種の年金をうけられることになっています。
この国民皆年金をささえる制度として、公的年金といわれる八つの制度があります。たとえば、一般のつとめ人は厚生年金に、船員は船員保険に、自営業者や農漁村の人は国民年金に加入しています。そして、これらの年金制度間を移動した場合には、各制度からそれぞれ年金の支給される通算老令年金制度もあります。

5年年金の加入は3月限り

昨年、国民年金制度が大幅に改正されましたが、5年年金の再加入もその一つです。
明治39年4月2日より明治44年4月1日までに生れた人には、これまで2回国民年金に加入する機会がありました。なお加入もれとなっている人は、この三月末までに市役所年金係に申し出て5年年金の加入者となることができます。

市民課

指名願…3月31日まで

- ▼物品 市の指定した競争入札（見積）参加申請書で…会係課用度係
- ▼工事 建設省の統一様式、市にも様式があります…企画財政課

所得税

所得税の確定申告も三月十五日まで、南園税務署（大圃の旧農業試験場入り口南側）で行われます。ことしは今までのように、納税相談のための案内状を出していませんが「申告書の書き方」などに

ついでには相談に応じています。期限近くなると混雑しますので早めに申告と納税をすませるよう望んでいます。

特に、次のような人は、税金が納めすぎでないか確かめてください。
▼四十八年中の所得が少ない人で利子や配当、原稿料などの収入があった人。
▼サラリーマンで、四十八年の

途中で退職し、その後就職しなかったため年末調整を受けなかった人

▼サラリーマンで、雑損控除や医療費控除、住宅取得控除などを受けることができる人。
▼予定納税をしている人で、災害を受けて営業不振だったりして所得が著しく減り、確定申告の必要がなくなった人。